



【特集】

密着 横手消防24時

目次 Contents

特集「密着横手消防24時」 2

行政情報便
●市長ですこんにちはほか 12

地域の話
●NEWS東西南北 14

情報information
●お知らせ 16
●いどばたブラザ

読者の声 20

思えば遠くへ来たもんだ
●古内悦子さん(雄物川) 22

巧(たくみ)
●山本省三さん(増田) 23

横手遺産
●赤レンガ蔵(大森) 24

特集 密着 横手消防24時
YOKOTE CITY FIRE DEPT.



【特集】
かけがえのない生命 財産 笑顔を守る

密着 横手消防24時

YOKOTE CITY FIRE DEPT.

全国で3000か所を超える消防署等に勤務する消防士は、およそ15万人。
横手市消防本部では、市民10万人の安全を確保し、その笑顔をつなぐため、
消防長以下165人が昼夜を問わず任務にあたっている。
事故や災害の未然防止のためにその目を光らせ、万が一、市民の身に危険が
およんだ時には、みずからの体を張り危険と立ち向かう消防士たち。
市民の暮らしを守るため、日々努力を重ねる消防士に密着した。

Interview 消防士の横顔



気持ちを締め
任務を確実に

消防署消防士
瀬川敬之 せがわ・たかゆき 24歳
大学で救急救命士の資格を取得。この4月に横手市消防本部に任用された新人消防士。

消防士になって2か月あまりですが、既に2度の林野火災を経験しました。幸い大事には至らず、ともに1時間程度の出場でしたが、体力が予想以上に消耗し、任務の重大性を痛感しました。人の命を預かる仕事ですから、当然のことながら後悔は許されません。横手市消防本部では今年、新人5人が任用となりました。現在は先輩消防士の補助的な仕事が多いですが、互いに切磋琢磨しながら個々の能力と組織としての機能を高め、有事の際には確実に任務を遂行できるように訓練に励んでいます。

緊急時の出場に備え、車輦に乗り込み各部の点検を行う
周囲に響き渡るサイレンやクラクションの音が隊員の気持ちをより一層引き締める



【特集】
かけがえない
生命 財産 笑顔を守る

密着 横手消防24時

YOKOTE CITY FIRE DEPT.

1日の始まり
細心の注意を払い
万全の出動体制を

Interview 消防士の横顔



地域住民の期待に
応えて

雄物川分署消防士
菅原雅廣 すがわら・まさひろ 26歳
緊急時の出動のほか、地域の事故・災害の予防活動等、業務全般を担う。

過去に自分の家族が救急隊にお世話になったことがあり、現在も感謝の気持ちを忘れていません。自分が消防士になった今、実際に市民の方から感謝の言葉をいただくこともあります。消防業務に対する地域住民の皆さんの期待がそれだけ大きいということだと実感しています。その期待に応えるためには、あらゆる状況に対応できる能力を身につける必要があります。人命救助の最前線で働くことの責任と良い意味でのプレッシャーを胸に刻みながら日頃の職務についています。



8時30分、勤務交替。前日からの24時間にわたる勤務を終えた隊員に代わり、当日勤務の隊員の1日が始まる



1日の安全を願って国旗等を掲揚



事務室で行われる引き継ぎ。引継書を手に、その日の勤務にあたるうえでの留意点などを確認

Part 1 朝 備える



ワイシャツにネクタイ姿で出勤する姿はサラリーマンと同様。この後、素早く着替えを済ませ消防士へと変身する

消防署は一時も休むことはない。その1日の始まりは朝8時30分に行われる勤務交替。その日任務につく消防士は前日から24時間の任務を終えた消防士から業務の状況や留意点などの説明を受けた後、緊急車輦のサイレンやライト類、各種資器材の動作点検、整備を人念に行い緊急時に備える。

人命救助のため1分1秒を争う場面では、わずかなトラブルが取り返しの付かない事態に陥ることもある。単純だが、毎日繰り返し行われ欠かすことのないこれらの作業が、私たちの安全に確実に結びついているのである。

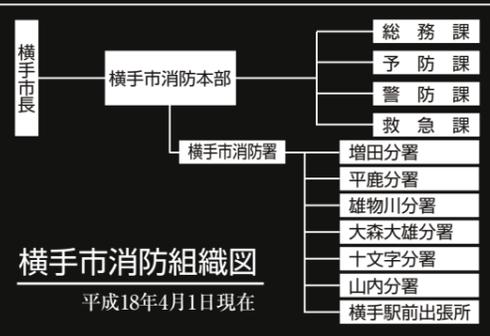
消防署は市内8か所本署の1日を追った

横手市消防本部では、地域のバランスを考慮し、1つの消防署（本署）と6つの分署、1つの出張所の合わせて8署を配置、相互の連携を図りながら万が一に備えている。

今回、密着取材を行ったのは、横手市役所北庁舎内にある横手市消防署（本署）。ここには50人の消防士が所属し、災害発生時の出場指令や関係機関との連絡調整を行う通信指令室を備えるほか、はしご車や化学車、救助工作車など、さまざまな火災災害に対応する高度な機能を備えた緊急車輦を配備している。

業務の引き継ぎで1日がスタート

稼働時間は24時間365日。当然ながら、市民の生命を守る



重篤な患者や怪我人の搬送に対応する高規格救急車の内部。救急救命士が高度な医療行為を行えるよう、各種資器材を搭載している

消防士の1日(勤務は午前8時30分から翌日の午前8時30分までの24時間勤務)

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7
※8時15分までには出勤、引き継ぎを行う		●8時30分 勤務交替 車輦、機材等のチェック ミーティング		●9時30分~12時 救助訓練 救命講習等		●13時~17時 放水訓練、機械器具操作訓練、車輦点検、事務処理等		●17時 車輦点検		●22時~ 深夜勤務		交代で仮眠をとりながらの勤務		●6時30分 全員起床								●6時30分 全員起床	
												●事務処理 各種報告書の作成										●6時30分 全員起床	
																						朝食	

日ごろの鍛錬が現場での活動を支える

ある消防士が言った
「災害現場には、危険という名の生き物が住む。
小さな危険はやがて大きな危険を生み、最悪のシナリオへと導くのだ…」

訓練とは単なる練習ではない
「危険を知ること」である

取材したその日は、各分署から精鋭の隊員たちが集まり、合同の救助訓練が予定されていた。引き継ぎや各種資器材の点検を終え、万全の出動態勢を整えた隊員たちは休むことなく訓練の準備に入る。

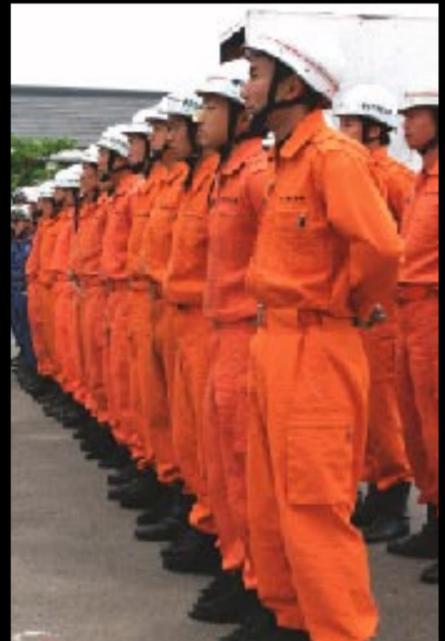
「現場には多くの危険が潜んでおり、最悪の場合は生命をおびやかす」現場の活動とは、出動から帰署までにある危険の芽を一つひとつ潰していくこと。そのための訓練は、実際の動きをシミュレーションすると同時に、危険の芽がどこに潜んでいるかを知ることである。したがって訓練は継続的に行わなければならない意味があるのである。

訓練とはいえ、時には隊員の安全に関わることもある。そのため、訓練に使用する機材の設置やウォーミングアップはゆっくりと時間をかけて念入りに行

われる。訓練が始められると、隊員の目はさらに鋭く変わる。「腕立て伏せ10回！」ミスをした隊員には厳しい命令が飛ぶ。ミスには大小がない。すべてのミスが大きな危険に発展する可能性を含んでいるからだ。

絶えることのない
人命救助へのあくなき追求

また署内では、AED（自動体外式除細動器）の講習も行われており、救急救命士から使用方法の指導を受ける隊員の姿も見られた。このように消防署では、時間のある限り、人命救助に関する訓練が続けられている。



「人の生命を救う」究極の目標に向かって意識を統一



障害突破訓練。訓練とはいえ、ミスは許されない



実際の現場を想定し機材を背負う隊員



障害突破訓練。1本のロープで壁面を下る



出動訓練。緊急車両に乗り込むまでわずか数秒



片道20メートルのロープを往復し、要救助者を安全・確実に、かつ素早く救出する



隊員の体力と士気を高めるランニング
辺りには勇壮な掛け声が響く



目標めがけて確実に放水
実際の火災現場では放水が長時間におよぶこともあり、かなりの体力を必要とする



AEDの使用方法を確認する隊員たち
(全国で1日約100人が心臓発作で突然死しているが、その多くが早期にAEDを使用することで助かるという)

Interview 消防士の横顔



万が一に備える
それが消防の仕事

消防署消防士長
佐藤一真 さとう・かずま 33歳
河川や沼への転落事故等の際に水底に沈んだ要救助者を救出する潜水士

海のない横手市は、比較的水難事故は少ないですが、それでも3年から4年に1度は救助を必要とする沼への転落事故等が発生しています。水中では、状況によりますがほとんど前が見えず、言葉も通じないため手探り状態の捜索作業となります。普段と違う状況にいかに対応するか。事故や災害はいつ起こるかわかりませんが、私たちが出動する機会が無いに越したことはありません。消防士は訓練を重ねることで体力と技術を身につけ、いざという状況に備えるしかないのです。

【特集】
かけがえのない
生命 財産 笑顔を守る

密着 横手消防24時
YOKOTE CITY FIRE DEPT.

Interview 消防士の横顔



危険に立ち向かう
判断力と行動力

消防署消防士
和賀洋明 わが・ひろあき 29歳
火災発生現場に出動し、消火活動と要救助者の救助活動を行うポンプ隊

消防士に必要な資質、それは冷静な判断力と行動力です。市民の皆さんにはもちろん、私たち消防士にとっても火災現場は危険であることに変わりありません。建物火災の現場で、あと1歩進んでいけば2階から転落するという状況も過去にありました。恐怖感が全くないと言えば嘘になります。しかし、その恐怖感に打ち勝つための訓練を日頃からしているからこそ冷静な判断ができるのです。さらに、そこには勘の鋭さも要求されます。使命感と行動力だけで前に進んでは、自分の命を失うこととなります。

Interview

消防士の横顔



救急救命に市民の力を

消防署消防士長 菅谷和明 すがや・かずあき 44歳 傷病人に対する特定の医療行為を医師の指示のもとで行うことができる救急救命士

救急隊である以上、傷病者を病院に搬送するまでに容態を悪化させるわけにはいかない、できれば回復させたいというのが私たちの思いです。救急救命士制度が創設されて以来、処置できる範囲が拡大されています。最近では、心臓に異常が生じた場合に電気ショックで回復させる「AED」と呼ばれる機器が公共施設などにも設置されており、音声指示に従えば誰にでも簡単に操作できます。「できる限りのことはしたが…」という状況にならないために、市民の皆さんのご協力をお願いします。

Interview

消防士の横顔



夢と安心を与える消防士に

山内分署消防副士長 日野正利 ひの・まさとし 29歳 緊急時の出動のほか、地域の事故・災害の予防活動等、業務全般を担う。

地域の特性は事故や災害にも現れます。山内地域は、横手市の中でも山や川が多く、その分注意しなければならない点が増えます。最近では、都市部で多かった一人暮らしや高齢者だけの世帯が地方でも増えており、急病人が出た際に発見が遅れることも考えられます。地域のコミュニケーションを大切に、いざというときに助け合える社会が理想です。私たちが、常に様々なことを想定し、市民の皆さんとのコミュニケーションを図っていかねばなりません。夢と安心を与えられる消防士でありたいです。



「緊急通報入電」緊張が高まり、全隊員が集中する瞬間

市民の不安解消に迅速かつ丁寧な対応 消防署が市民から受ける通報は緊急通報だけではない。歯科医院や眼科医院を探しているという電話に対し、営業している医院を即座に手配し、紹介する。隊員ならではのいえる対応が非常に印象的である。

通信の合間には、報告書等の書類を作成したり、法令の勉強をする隊員の姿も見られる。そんな中、突然の緊急通報が入る。それまでの雰囲気は一転、室内には張り詰めた緊張感が漂う。

各隊の動きを把握 横手市消防本部の指令塔 外では救助訓練が行われ、隊員の緊張感ある声が響いている消防署の中に、「静」の緊張感漂う一室がある。24時間365日稼働し続ける署の中でも、一時も機能を停止することが許されない通信指令室。室内には、119番通報からの一連の流れを一元管理する通信指令システムを備え、管内各署所の出動状況や病院の受け入れ状況なども一目でわかるようになっていく。幸い、これまでのところ火災の通報は1件もない。救急についても比較的落ち着いている様

特集 密着 横手消防24時 YOKOTE CITY FIRE DEPT.

Part 3 昼 夜 応える

Interview

消防士の横顔



社会の安全が私たちの生きがい

消防署消防士長 中川原一智 なかがわら・かずとも 37歳 災害の種類を問わず、要救助者がいる場合に出動し救助にあたる救助隊

横手市消防本部に任用になる前の4年半ほど、東京消防庁に勤務していました。その後「どうしても故郷のために力になりたい」との思いから、現在に至っています。私たち消防士は、住民を災害等の危険から守る全体の奉仕者として、その責任も重大です。社会情勢の変化に伴い複雑多様化する災害の形態に対応するため、私たち救助隊も絶えず進化しなければなりません。常に1歩先を見ずえて訓練に臨んでいます。また、その訓練の成果が生かされぬまま時間が過ぎるのを願うばかりです。訓練に終わりなし！

Interview

消防士の横顔



正確な情報と対応が人命救助のカギ

消防署消防士長 佐々木建夫 ささき・たてお 38歳 119番通報の受信、出動車両の選別、関係機関との連絡調整を行う通信指令係

緊急時に最初に市民の皆さんと接するのが通信指令係です。そこで、市民の皆さんにお願いです。まずは、119番通報の際は現場の所在地を落ち着いて正確に話してください。正確な情報が的確な指令に、さらには人命救助へとつながります。過去に、通報者と指令係、出動した救急隊の的確な連携があったからこそ事故現場にたどり着けたという事例もあります。また、不幸な状況を生まないためにも、いたずら電話は絶対にしないでください。実際に救助を必要とする通報と重ならないとは言いきれませんが、

消防活動に市民とともに取り組む

消防署では市民を対象とした各種講習を実施しています



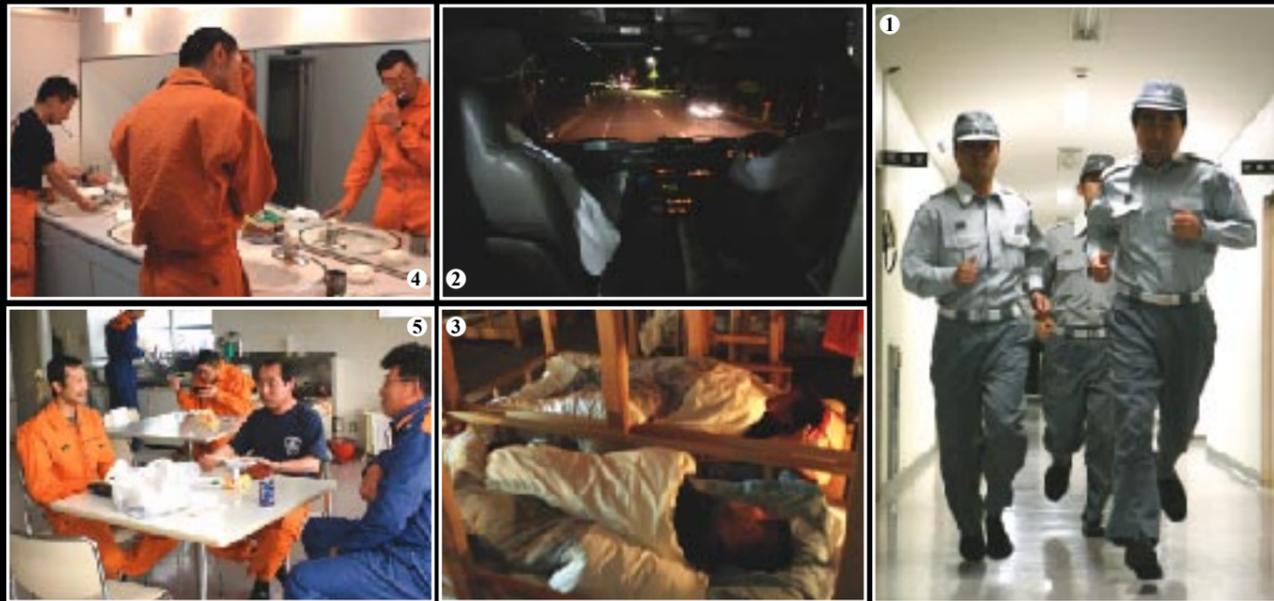
市民を対象とした救急救命講習。事業所や各種団体の依頼に応じて出前形式で実施する。また、消防署内でも定期的に講習会が行われている



消防署の見学に訪れた幼稚園児に消防車の説明をする隊員



通信指令室の内部。119番通報の受信や各分署・出動隊への指令、病院等関係機関との連絡調整をこの部屋で行う



①深夜、通報を受けて出動する救急隊。通常、3人1組での出動となる
 ②現場に向かう救急車の車内。2次災害が起らないよう運転にも細心の注意を払う
 ③仮眠をとる隊員。慣れれば短時間でも熟睡でき、緊急時の出動指令にも反応できるという
 ④朝6時30分、署内に目覚ましのラジオが流れ全員起床。身の回りを整え気持ちを引き締め直す
 ⑤朝食。朝・昼・夕とも、各自タイミングを見計らって食事をする。揃って食事することは少ない



Part 4 夜 朝 守る

【特集】
 かけがえのない
 生命 財産 笑顔を守る

密着
 横手消防24時
 YOKOTE CITY FIRE DEPT.

消防隊員に必要な資質
 それは、「助ける」という、情熱

横手高規出動！
 無線により指令が飛ぶ
 緊急通報が着信した瞬間、おおよその通報地点は特定され、即座に指令が出される。
 「〇〇署管内、救急通報入電中」その瞬間から出動隊は出動態勢に入り、詳細な指令を待つ。その間も通報者との通信を続けている隊員は、冷静さを失うことはない。状況を確実に把握し的確な指示を出していく。そして指令を受けた出動隊は、すみやかに現場へと急行、傷病者の応急処置を行い病院へと搬送する。これら一連のやりとりの円滑さが聞く者に安心感を与える。

その後も、救急による通報が数件あったが、通報者に対して救急車が到着するまでの対処法を説明する姿や、電話口からのわずかな情報を確実にキヤッチして出動隊に伝える姿、傷病者の搬送を終えた後に見せる安堵の表情などは、消防士としての力強さよりもむしろ人としての繊細さを感じさせる。
 「通報には波がありますね。1本人ると立て続けに入ることがあるんですよ」
 その後の消防署は静けさを取り戻し、そのまま翌朝8時30分の勤務交替へと静かな時間が過ぎていった。

深夜
 車庫のシャッターが
 ようやく閉じられる
 それでも消防署は
 休むことなく
 市民の安全に目を光らせている

【取材を終えて】

消防士が活躍するのは、私たち市民の生命や財産に危険がおよんだとき。ゆえに、活躍という言葉を使うのは適切ではないかもしれない。しかし、消防士がみずからの命をかけて人の命を守る。その勇姿を市民の皆さんに見て、知ってもらいたいという思いから生まれた特集「密着横手消防24時」。かけがえのない生命、財産、そして笑顔を守る消防士はいつもあなたのそばに…。

特集 密着 横手消防24時
 YOKOTE CITY FIRE DEPT.

Interview

署長に聞く

日々の訓練の積み重ね
 が市民の安全を守る

事故、災害、救急を含め、人を助けるということは、第一に消防士自身がケガをせず、安全を確保して初めてできることです。そのために日々の訓練や点検を怠ることなく有事に備えるとともに、出動隊員全員が安全に気を配ることを徹底しています。24時間という厳しい勤務体制の中、あらゆる場面で瞬時の的確な判断と迅速な対応が求められる仕事です。市民の皆さんのかけがえのない生命、財産を守り、安心・安全に暮らせるよう、隊員一人ひとりが日々努力を積み重ねています。



消防司令長 横手市消防署長
東海林 隆 しょうじ たかし 58歳
 昭和22年生まれ。昭和41年、横手市消防本部に採用され消防士となる。大森大雄分署長などを経て、今年4月から横手市消防署長となる。

がんばれ スギッチ



～国体だより～
No.3

市民ボランティアを募集します

募集期間 6月15日(木)～7月31日(月)
募集対象 中学生以上で横手市内に在住・在勤・在学している方(中学生は保護者の承諾が必要)
活動場所 横手市内の国体競技会場、案内所など
活動内容 受付案内、接待、式典アシスタント、資料配布、休憩所の運営、誘導・会場整理、弁当配布、環境美化、花づくり運動、応援団、筆耕、その他
募集人数 200人程度
 募集要項は市役所及び各施設、郵便局、銀行、JA、観光施設等にあります。横手市ホームページから入手及び登録申し込みもできます。登録申込書に必要事項を記入し、横手市国体実行委員会へ郵送するか、FAXで送信してください。直接持参する場合は、各地域局の地域振興課へお持ちください。



秋田わか杉国体 秋田わか杉大会

秋田わか杉国体横手市実行委員会では、市民ボランティアとオリジナルキャッチフレーズを下記のとおり募集します。国体・障害者スポーツ大会を市民みんなで盛り上げるため、奮ってご応募ください。

申込み・問合せ 秋田わか杉国体横手市実行委員会(国体推進事務局内)
 〒013-0061 横手市横手町字一ノ口97(横手就業改善センター内)
 ☎35-2171 ☎32-3306 Eメール kokutai@city.yokote.lg.jp
 【国体推進事務局は、6月から横手体育館隣、横手就業改善センター内へ移転しました】

オリジナルキャッチフレーズを募集します

募集期間 6月15日(木)～7月10日(月)
応募資格 小学生以上のどなたでも応募できます。
賞品 最優秀作品1点、優秀作品2点に、それぞれ1万円相当、5千円相当の記念品を贈呈します。
応募方法 一人何点でも応募できます。ただし、作品は自作で未発表のものに限ります。
 ①応募用紙を使用する場合、応募用紙は各地域局か横手市ホームページ上にあります。郵送、FAXまたは各地域局の地域振興課へ提出してください。
 ②官製ハガキ、Eメールを使用する場合、ハガキまたはメールに作品(応募1通につき1作品)、住所、氏名、年齢、職業または学校学年、連絡先電話番号を記入のうえ、応募してください。



山菜王国の実現に向けて

前回のこのコーナーで「私のまちの市長室」について報告させていただきました。その中で参加者から出された提案の一つ、「ワラビを活用した産業振興」を受け、このほど山内南郷地区の山を地元の方の案内で視察してきました。

「地場の資源を活用して何かをしたい」。住民の皆さんの熱い思いに共感を覚え、大きな可能性を感じての視察でしたが、一筋縄で事が運ぶとは思っていません。例えば、ビジネスとして山菜の売り上げを伸ばすには、農産物である山菜を商品として作り上げ、市場へと送り出す過程が必要であり、それには新たなリスクが発生します。生産流通の各過程で誰がどのような役割を担うのかを明確にし、そのリスクをいかに分散させるかがポイントとなるでしょう。私が出張する際、土産としてワラビを持参することがあります。

市長です

こんにちは

横手市長 五十嵐 忠悦



す。それも山内産の最高のワラビです。食べた方はもちろん美味いと言ってくれますが、都会では比較する対象がないため、どれだけ美味しいのか理解してもらえないのが残念です。売り上げにつなげるためには、商品を正しく評価してくれる人、どうすれば評価が高まるかを指導してくれるアドバイザーといった人的ネットワークも必要です。現在、市が推進する「マーケティング」がまさに、生産者と消費者の口まで運ぼうとする取り組みです。提案されたアイデアを生かした「山菜王国」実現のため、行政がどのような形でサポートできるか検討しているつもりです。いずれにしても、他の成功例の真似をしているようでは、新しいものは何も生まれません。横手には色々な「強み」があります。これを生かさない手はないと実感しています。

環境

前郷墓園を分譲します

前郷墓園の平成18年度造成分を分譲します。墓地の概要や申し込み方法は次のとおりです。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

位置 横手市前郷字元山地内
分譲区画

- 園路墓地 17基【間口2m×奥行3m】
 (土地のみで、規定の範囲内で自由な形態の)
 墓石が建てられます
 永代使用料 310,000円
 管理手数料 年間2,520円
- 規制墓地 24基【間口2m×奥行2m】
 (お骨を入れるカロート付きで、規定された)
 墓石と花立を建てていただきます
 永代使用料 230,000円
 管理手数料 年間1,680円

申込条件 横手市に現住所か本籍を有すること
申込日程 申込期間 6月19日(月)～7月14日(金)
 抽選会 7月26日(水) 午後2時
申込方法 横手地域局市民生活課に備え付けの申請書に必要事項を記入し提出してください。遺骨を保管されている方は埋葬許可証の写しを添えてください。
問合せ 横手地域局市民生活課環境防災担当 ☎32-2703

農政

中山間地域等直接支払事業 実施状況をお知らせします

平成17年度の「中山間地域等直接支払制度」の取り組み状況が確定しましたので実施状況をお知らせします。

地域名	協定締結数	参加農家数(戸)	交付対象面積(㊦)	交付金額(円)
横手	2	40	158,207	1,819,380
増田	25	647	3,464,046	26,910,773
平鹿	2	33	129,608	995,659
雄物川	13	113	600,122	5,099,414
大森	9	103	485,023	9,157,527
山内	31	530	2,946,214	26,601,671
合計	82	1,493	7,783,220	70,584,424

中山間地域等直接支払制度とは

農業生産活動等を通じて国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮している中山間地域の、耕作放棄地の発生防止・多面的機能の維持を図るために農業者等に対して直接、交付金を交付する制度です。

詳しくは、市産業経済部農政課生産振興担当(☎45-5522) または各地域局産業振興課までお問い合わせください。

次回の市長面会日のお知らせ

市民の皆さんのご意見、ご提案をこれからの市政に反映させるため、市長が直接お話を伺います。

- 対象者 横手市民または横手市内の会社や学校に通勤あるいは通学されている方
- 日時 (月1回開催) 6月27日(火)午後1時30分～3時 ※1人あたり15分まで(定員6人)
- 場所 市役所本庁南庁舎応接室 (旧横手平鹿広域交流センター)
- 申込方法 6月23日(金)までに、電話・ファクス・メールのいずれかで、氏名・住所・連絡先・お話の内容をお知らせください

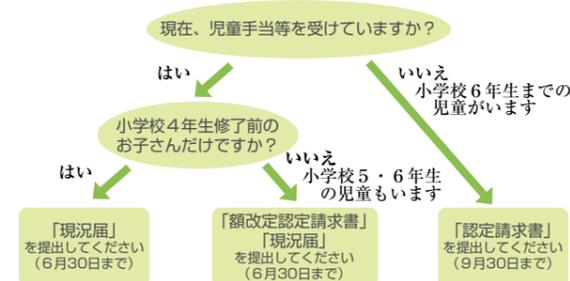
■申込み・問合せ
 市総務企画部秘書広報課秘書担当
 ☎35-2111内線1033 ☎35-2221
 Eメール = hisho@city.yokote.lg.jp

子育て

児童手当「現況届」の提出は 6月30日までに

児童手当等を受給されている皆さんには、毎年6月1日現在の養育状況を記載した「現況届」の提出をお願いしています。該当となる方には今月はじめに「現況届」の用紙をお送りしていますので、6月30日まで忘れずに提出してください。

なお、この度の制度改正により受給対象が小学校3年生修了前から小学校6年生修了前までになりました。小学校5・6年生のお子さんもいる場合は、「額改定認定請求書」もお送りしていますので、「現況届」と一緒に提出してください。



提出期限 平成18年6月30日
提出場所 各地域局福祉保健課
問合せ 市福祉環境部 子育て支援課(大森庁舎内) ☎26-2113
 各地域局福祉保健課(公務員の方は勤務先へ)

新酒のワインを堪能

■第20回大森ワインパーティー(大森)

大森ワインの発売を記念し5月27日、大森コミュニティーセンターで第20回大森ワインパーティーが開催され、192人の参加者が新酒の味を堪能しました。会場では、大森ワインのほか、20周年を記念して今年初めて生産されたスパークリングワインも振る舞われ、ステージで行われたは大森ワインを使用したカクテルショーや、マグロの解体ショーなどで、大いに盛り上がりました。会場を訪れたブドウ生産農家の方も「今年も美味しいワインが出来、がんばった甲斐があった」と話していました。



笑顔で乾杯する参加者

乳歯の大切さ学ぶ

■さくらんぼひろば「育児講座」(十文字)

6月1日、十文字のふれあい館で子育て支援センターさくらんぼ主催による育児講座が開かれました。これは、まだ保育所や幼稚園に入っていない子どもとその親を対象としたもので、この日は35組が参加。歯科衛生士の遠藤孝子先生が、「乳歯の生え変わりが子どもの成長のめやすになります。乳歯といっても甘く考えないように」と、実体験もふまえながら乳歯の大切さについて説明。特に、子どもたちの好きな飲物に入っている糖分の多さについて話すと、参加者は一様に驚いた表情で真剣に聞き入っていました。



歯科衛生士の遠藤孝子先生の話に聞き入る参加者たち

道行く人を花々が歓迎

■フラワーサンデー「花いっぱい運動」(山内)

横手市の東の玄関口である山内地域では、美しく清潔なふるさとづくりと地域のイメージアップを図ることを目的に、6月の第1日曜日をフラワーサンデーとして定め、「花いっぱい運動」を行っています。今年は6月4日朝、地域内に70か所以上ある花壇でサルビアやペゴニアなど、合わせて約2万本の植え付けが行われました。この日は天候にも恵まれ、早朝から多くの皆さんが参加。道路沿いに設けられた花壇に、道行く人の目を意識しながらバランスよく植えていきました。



色のバランスを考え等間隔で植えていく参加者たち

繰り出す妙技に喝采

■ボランティアで竿燈演技を披露(大雄)

5月27日、大雄地域局前で秋田市川尻の毘沙門町竿燈会(佐藤弘会長)がボランティアで竿燈演技を披露しました。この催しは、グループホーム大雄を運営するクリーンマジック(佐々木正樹代表取締役)が、竿燈を見たことのない入所者に演技を楽しんでもらおうと、グループ会社に勤務する同竿燈会メンバーに依頼して実現したもの。強風が吹きつける悪条件の中、繰り上げられる数々の妙技に、同グループホームの利用者や知的障害者、地域住民の皆さんからは、たくさんの手拍子と掛け声が送られていました。



手拍子や掛け声を受け、演技を披露する毘沙門町竿燈会の皆さん



歩行者支援システムで道路横断を仮想体験

道路横断の危険性を再確認

■高齢者交通安全大学(横手)

高齢者交通事故防止準モデル地区に指定されている黒川地区のオアシス館で6月1日、65歳以上の方を対象とした「高齢者交通安全大学」が開講され、約40人が参加しました。これは、計3回の講義を実施し、修了者に受講証を交付して事故防止につなげようと横手警察署が実施しているもので、今回が1回目。参加者の歩行に連動した画像が画面に写し出されるシステムを使用して道路横断のタイミングを再確認したり、運転に対する適正を点数化して判定する機材を使用したりして事故防止の意識を高めました。

宝の山でわらび採り

■「増田っこ塾」が山菜採りに挑戦(増田)

6月3日、増田っこ塾活動「山菜採りに挑戦」が増田地域狙半内地区にある外畑牧場で行われ、増小児童と保護者ら約20人が参加しました。増田っこ塾は、地域にある施設や自然を利用した様々な体験活動を通し、友達の輪を広げて地域やふるさとへの関心を深めてもらうことを目的に開講されているもの。この日参加した親子らは、地元の山菜採り名人から種類や採り方について説明を受けた後、さっそく挑戦。ワラビを発見するたびに歓声を上げ、初夏の一日を楽しみました。



「ワラビ発見！」歓声を上げ山菜採りを楽しんだ子どもたち



初めての田植え機に四苦八苦する参加者

提供する商品生産地を訪問

■豊前地区で田植え体験(平鹿)

5月30日、平鹿地域で省農薬栽培された米を使用している全国レストランチェーン店の店長など5人が、お客さんに提供している米の栽培方法や生産過程を理解しようと、生産地である平鹿地域豊前地区を訪れ、田植え体験と情報交換を行いました。同地区では16戸の農家が25区画の田で化学肥料70%減、農薬除草剤1回のみの省農薬栽培米「あきたこまち」を生産。参加者たちは、田植え機に乗り苗を植えた後、手植えも体験し、生産農家の苦勞を学びました。

地域監視の目となって

■商工会があなたの笑顔を守り隊結成(雄物川)

児童や高齢者などの社会的弱者を狙った犯罪が全国的に多発している現状を受け、雄物川町商工会が地域の監視の目を強化しようと「あなたの笑顔を守り隊」結成しました。商工会員の業種は多岐に渡り、車両を使用する時間や範囲が分散していることから、本業の傍ら24時間体制で監視が可能と、今年の4月から商工会女性部が中心となり隊の結成を計画してきました。6月6日に隊の名称入りステッカーを配布された会員は、早速車両にステッカーを貼り付け、危険個所の把握や児童へのあいさつ活動を行いました。



学校から帰宅する児童を見送る隊員

お知らせ

横手駅前再開発事業に関する都市計画を縦覧します

5月30日付けで、横手駅東口第一地区(駅前町、寿町の一部)の市街地再開発事業に関する都市計画を決定しました。関係図書を縦覧します。

■場所 市建設部都市計画課(十文字庁舎二階)

■問合せ 市建設部都市計画課 開発調整担当 ☎42-15117

金峰山テント村を開設

自然を味わい、参加者どうしの交流を深めませんか。

教科書展示会を開催します

平成19年度に使用する教科書の見本を展示します。

■期間 6月16日(金)～29日(木) 土日も開催

■時間 午前9時～午後4時30分

■場所 横手市教育センター(旧蛭野小学校)

■問合せ 市教育センター ☎24-1321

第40回 岩手・秋田親善焼石登山

岩手と秋田にまたがる焼石岳の雄大な自然に親しみ、両県の親睦を深めるため、親善登山を

■期間 7月8日(土)～8月27日(日)までの50日間
■場所 金峰山テント村
横手市平鹿町醍醐字赤滝(温泉保養施設「ゆっぷる」から徒歩5分)
■申込・問合せ 市教育委員会 平鹿生涯学習センター ☎24-13340
■募集期間 6月1日(木)～8月7日(月)

秋田わか杉国体に向けて、高齢者や障害のある方の外出を支援するため、主要道路沿いにある車いす用トイレが整備された店舗や施設などに、案内板を無償で提供します。

■対象 車いす用トイレが整備済みみの施設を管理する事業者等
■申込先 県平鹿地域振興局福祉環境部 ☎32-4005

調理師試験のお知らせ

平成18年度調理師試験を実施します。
■願書配布期間 6月12日(月)～7月7日(金)
■受付期間 6月29日(木)～7月7日(金)
■試験日 8月23日(水)

開催します。

■期日 7月2日(日)
■参加費 2,500円(定員40人)
■申込み 6月26日(月)まで
■申込・問合せ 市産業経済部 観光物産課 ☎45-5519

第2回ほたるの夕べ

初夏の宵、清水沢川にホテルが乱舞します。屋台もおすすめです。ぜひご参加ください。
■日時 6月24日(土)午後7時(見ごろは8時前後)
■場所 城南町地内(横手南小学校北側) 清水沢川沿い
■問合せ 市横手地域局地域維持課 ☎32-2725

第34回 十文字さくらんぼまつり

十文字から平鹿方面へ向かう県道野崎・十文字線の周辺では、毎年さくらんぼを販売する直売所が立ち並びます。期間中は、さくらんぼ狩りや協賛イベントなども行われます。真っ赤に色づいたさくらんぼをぜひ味わってみませんか。

※今年は、天候不順によりさくらんぼの生育が遅れています。希望される方は、事前に十文字町観光協会へお問い合わせください。

■期間 6月17日(土)～7月9日(日)
■場所 十文字町十五野・富沢・新処・四ツ屋・腕越・佐吉開の各地区樹園地

さくらんぼ狩り
■料金 中学生以上 1,000円、小学生 700円、幼児500円

<p>さくらんぼマラソン大会</p> <p>■日時 6月25日(日) 開会9時</p> <p>■場所 十文字陸上競技場</p> <p>■申込 十文字B&G海洋センター ☎42-0487</p>	<p>さくらんぼ種とばし大会</p> <p>■日時 7月2日(日) 開始10時</p> <p>■場所 十文字野球場</p> <p>■申込 当日会場にて受付</p>
--	---

■問合せ 十文字町観光協会 ☎42-2422または 十文字地域局産業振興課 ☎42-5116

■問合せ 県平鹿地域振興局健康予防課 ☎32-4005

■秋田スギ内装材を差し上げます
「秋田スギの家づくり」応援事業として、県内に住宅を新築、全面改築される方に秋田スギ内装材を差し上げます。
■提供数量 全県で20戸
■申込み 7月3日(月)～7月21日(金)
■申込先 あきた県産材利用センター ☎018-837-8095

戦傷病者相談員が新任されました

戦傷病者とその家族の相談に応じる相談員が新任されました。
■新相談員 大屋新町字中野1-17-24 小野清一さん ☎33-5531
■任期 平成19年9月まで
■問合せ 県健康福祉部福祉政策課 恩給班 ☎018-860-1318

自衛官採用制度地域説明会

次の日程で説明会を開催します。
■日時 第1回 7月9日(日) 第2回 7月30日(日) 第3回 8月27日(日)

第37回「市民登山の集い」

■期日 7月23日(日)
■場所 岩手県姫神山
■対象 中学生以上
■参加費 1,500円
■申込み 7月2日(日)午前9時から窓口で受付、代理申込みはできません。
■問合せ 横手中央公民館 ☎32-3137

人形劇団ちんどん公演「一寸法師」

プロの人形芝居を公演します。
■日時 6月29日(木)午後7時
■場所 かまくら館5階
■問合せ 横手おやこ劇場 齊藤さん ☎32-0573

バスケットボール サマリーリーグ2006

■期日 7月30日(日)・8月6日(日)・20日(日)
■場所 横手体育館
■申込み先 7月14日(金)までよこてスポーツクラブ事務局(横手体育館内) ☎33-12102

リバーサイド・ミステリー てくてくウォーキングin黒川

黒川の魅力を再発見する健康

こんなハガキ、届いていませんか?
「国民健康保険庁」は実在しません

市民の方から「国民健康保険庁」という機関から督促状が送られてきた、という連絡が市役所へありました。このような機関は実在しません。ハガキが送られてきても、絶対に連絡しないでください。連絡すると、不当な請求を受けたり、個人情報漏れしたりします。

(内容)
ハガキの表に下記の住所と連絡先が書かれています。

国民健康保険庁 健康保険課/国民年金係
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-2-48
TEL 03(3836)2608

開封すると、「督促状 国民健康保険負担割合変更のお知らせ」とあり、必ず連絡するよう何度も書かれています。また、連絡しないと保険証が使えなくなる、などといった脅迫めいた文言もあります。

※このようなハガキが送られてきたら、まずは市役所へご連絡ください。
■問合せ 市産業経済部商工労働課 ☎45-5516

■時間 午後2時～4時
■場所 サンサン横手
■問合せ 横手募集事務所 ☎32-3920

子ども文庫助成事業の募集

(財)伊藤忠記念財団では、児童の読書についての啓発や指導を行っている個人や民間団体を対象に助成事業を行っています。子どもの本購入費用の助成 児童図書等の購入費用の助成
■申込み 6月30日(金)まで
20万円相当の図書セットの助成
■申込み 8月31日(木)まで
■問合せ 中央図書館(雄物川図書館) ☎22-2300

づくりウォーキングです。

■日時 7月8日(土)受付8時
■集合場所 オアシス館(黒川公民館)
■申込み 6月15日(木)～30日(金)
■申込・問合せ 横手保健センター ☎33-9600

陸中海岸を巡る「長寿くろぎの旅」

浄土ヶ浜や浪板海岸など、陸中海岸をまわります。
■期日 ○横手・山内地区の方 7月3日(月)～4(火) ○増田・平鹿・十文字地区の方 7月5日(水)～6日(木) ○雄物川・大森・大雄地区の方 7月10日(月)～11日(火)
■対象 65歳以上の市民の方
■申込み先 6月23日(金)まで横手市社会福祉協議会各地区福祉センターへ。

募集

県営住宅入居者募集
■募集住宅 県営朝日が丘住宅
■募集戸数 3戸
■募集期間 6月9日(金)～7月10日(月)
■問合せ 県平鹿地域振興局建設部建築課 ☎32-6206

かわいいお孫さんの誕生を記念して 横手の夜空に喜びの「花」を咲かせてみませんか

「祝！初孫誕生記念花火」の概要
■花火代金 30,000円(10組限定)
■初孫記念花火の特典
①花火は大スターマインを打上げます。
②月花火の打上げ前に、おじいちゃん、おばあちゃんからのメッセージを読み上げます。
③送り盆まつりプログラムにメッセージとお名前を掲載します。
④打ち上げた花火の映像を収録したDVDをプレゼントします。
■募集期間 6月19日(月)9:00～(10確定後終了)
■申込方法
◎窓口受付：(社)横手市観光協会(かまくら館1階事務室)
◎窓口以外：☎33-7111 FAX33-7113 E-mail yokote@yokotekamakura.com

8月16日、よこて送り盆まつりの際に行われる「花火ショー」の中で、「祝！初孫誕生記念花火」の打ち上げを行います。初孫誕生を記念して、おじいちゃん、おばあちゃんのお孫さんに寄せる思いを、花火にして打ち上げてみませんか？

この他、厄払いや還暦などをお祝いした記念花火も募集しています。予算に応じて、ご準備いたしますので、お問い合わせください。問合せは、(社)横手市観光協会(☎33-7111)まで。

催し

ちびっこわくわくフェスティバル
親子で楽しめる遊びがいっぱいの子どものおまつりです。
■日時 7月2日(日)午前10時
■場所 さかえ館(大屋新町)
■問合せ 子育て支援センター 1なかつし ☎35-7227

横手養護学校学校公開「みんなの登校日」を開催します

授業公開や教育相談を行います。
■期間 6月26日(月)～30日(金) 午前10時～正午
■問合せ 横手養護学校 ☎33-4167



市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

オカリナを吹いてみよう
初心者対象のレッスンです
期間●7月～9月までの日曜日、月2回
午後1時から
場所●サンサン横手音楽室
問合せ●日高見さん ☎090-4918-4674

介護予防体験教室
筋力トレーニング機器等を使った介護予防の体験教室です
対象●旧横手・山内・大雄に在住する65歳以上の方
日程●6月27日(火)、6月30日(金)
7月4日(火)、7月7日(金)
時間●午前11時30分から
問合せ●ビハーラ横手 ☎35-6131

旭谷温古書道教室書展
期間●7月1日(土)～3日(月)
場所●かまくら館5階
入場料●無料
問合せ●旭谷さん ☎32-4814

歌の好きな人集まれ！思いつき歌声喫茶
「青葉城恋歌」「夏の思い出」ほか数曲を予定
日時●7月6日(木)午後7時開演
場所●レストラン煉瓦屋(寿町)
参加費●1,000円(軽食付き)
問合せ●レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

第7回 日赤愛のチャリティショー
日時●7月9日(日)午前11時開演
場所●横手市民会館
主催●八つ手の会
問合せ●花柳さん ☎36-1114

第23回 さくらんぼ杯全県将棋大会
日時●6月18日(日)受付9時から
場所●増田十文字商工会
参加費●1,500円(昼食付き)
問合せ●佐藤さん ☎090-3365-2720

とっぴんばらりのプー 第66回昔語りの会
ふるさとの昔っこを楽しみませんか
日時●6月24日(土)午後1時30分から
場所●こうじ庵(鍛冶町)
問合せ●尾形さん ☎32-0630

岡本新内会 初夏の一日入門教室
唄や三味線を基礎からはじめませんか
日時●6月24日(土)午後1時から
場所●中央公民館(根岸町)和室
参加費●無料
問合せ●大野さん ☎32-2086

吟詠交流発表会
市報6月1日号に掲載された開催時間が変更になりました。お間違えのないようご来場ください
日時●6月25日(日)午後1時から
場所●横手駅前プラザホテル
問合せ●伊藤さん ☎32-4178

市からのお知らせ クールビズを開始します
市役所では、暑さの厳しい夏場に涼しい服装で勤務し、省エネを図ることを目的に、クールビズを始めます。クールビズとは、ノーネクタイやノー事務服など夏のビジネス軽装のことで、期間は6月から9月までの3か月間です。市民の皆さんのご理解をお願いします。
市総務企画部人事課 ☎35-2163

男女共同参画週間 6月23日(金)～29日(木)
市総務企画部男女共同参画推進室 ☎35-2158

講習講座
訪問介護員養成研修2級課程講習会・調理師養成講習会
全過程を受講できる母子家庭の母親及び寡婦の方が対象です。訪問介護員養成研修2級課程講習会
日程 講義7月1日(土)～8月27日(日)の土日
実習9月4日(月)～12月21日(木)までの平日4日間
場所 すこやか横手ほか
参加費 5,000円

育児講座「食育教室」にご参加ください
秋田県食の国あきた推進チームから講師を迎え、「家庭での食育」をテーマに教室を開催します。
日程 7月7日(金)午前10時
申込み 6月30日(金)まで
対象 男性の方
料金 無料
問合せ 南部シルバリエリア ☎26-3880

外国人専門家出張相談会
県内在住の外国人と日本人の関係者が抱える法律や生活上の精神的な悩みに、弁護士と臨床心理士等が応じます。
日時 7月4日(火)
場所 かまくら館
相談料 無料(定員4人)
申込み先 6月29日(木)まで
県学術国際政策課 ☎18-8600-1219

計量モニターを募集します
日常で購入する商品の適正な計量が行われているかを調査する計量モニターを募集します。
実施期間 9月1日(金)～30日(土)までの30日間
対象 市内在住の方
募集人数 20人
募集条件
・他にモニターを引き受けていない方
・説明会 及び報告会に参加できる方
申込み 7月7日(金)まで
申込み問合せ 市産業経済部 商工労働課 ☎45-5516

南部シルバリエリア 料理・陶芸教室を開講します
「活き活き学園」料理教室に加えて、新たに陶芸教室を開講します。ぜひご参加ください。
おやじの料理教室
日時 6月25日(日)午前10時
対象 男性の方
申込み 6月20日(火)
料理教室
日時 7月7日(金)午前10時
申込み 6月30日(金)まで
陶芸教室
期間 火曜日から土曜日まで
参加費 300円(粘土代)
問合せ 南部シルバリエリア ☎26-3880

排水設備工事責任者の講習会と資格認定試験
日時 講習会 8月24日(木)
資格認定試験 9月27日(水)
講習・試験とも午前9時受付
場所 市役所南庁舎
手数料 講習と試験を合わせて6,000円
申込み 6月21日(水)～7月7日(金)
申込み問合せ 市横手地域局 下水道維持課 ☎2-2111

記事の訂正について
市報よこて6月1日号の記載内容について、次のとおり訂正します。
市報よこて6月15日号
12ページ「あやめまつり」のイベント情報について
○開催数24回は「25回」に。
○フリーマーケットの開催日「6月24日(日)10:00」は「6月18日(日)10:00」に変更になりました。
○ポニーの馬車運行「6月25日(日)11:00」は「6月18日(日)11:00」に変更になりました。
○超神ネイガーション「7月2日(日)14:00」は「7月2日(日)14:30」に変更になりました。
※詳しくは、平鹿地域局産業振興課(☎24-1118)へお問い合わせください。

訂正とお詫び
5月中旬に各世帯に配布した印刷物の記載内容に誤りがありました。訂正しお詫びします。
第3期横手市介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画概要
最終ページ37番「介護通所かがやき」は「介護予防デイサービスセンターかがやき」の誤りでした。
○51番「グループホームきらら浅舞」の電話番号「35-6271」は「24-0727」の誤りでした。
○54番「小規模多機能型居宅介護ぬくもり」は「小規模多機能型居宅介護事業所ぬくもり」で電話番号「35-4344」は「35-6131」の誤りでした。



笑顔がいっぱい

お便りをくださった方の中から抽選で
横手市の特産品をプレゼントします。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせて
いただきます
【締め切りは平成18年7月5日(当日消印有効)】

●誕生20周年記念 大森ワイン (大森)



誕生から20周年。大森産
の白ワイン用ぶどうのみ
を使用した本格派ワイン。
大森ワイン甘口、辛口2
本セットを3名様様に。

【提供】メルシャン株式会社

●秋田県産あきたこまち使用「発芽玄米あねっちゃん」

高血圧や成人病の予防に
効果があるといわれる「ギ
ャバ」が白米の20倍。発芽
玄米「あねっちゃん」30gパ
ック25袋入りを5名様様に。



【提供】株式会社
横手産業支援センター
☎33-8716

POST CARD



お手数ですが
50円切手を
お貼りください

横手市前郷字下三枚橋163

横手市役所
秘書広報課 行

フリガナ

◎ご氏名

◎年齢/ 歳 ◎性別/ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 () -

◎ご希望のプレゼントを○で囲んでください

1. 大森ワイン 2. 発芽玄米あねっちゃん

たより

ふれあい
語り合い

6.15
2006

読者の声

このページは読者の皆
さんから寄せられた声
にふれあう場です。
いろいろな声をお寄せ
ください。

大好きな季節の訪れ

大森 太田生子さん

あちこちの方の見事な桜を見て、今年も無事春を迎える事ができたことを本当にうれしく思います。新緑を眺め、ああ私の人生捨てたもんじゃないなとニンマリします。春を愛でる、ますますいい季節になります。

半年ぶりの故郷は

増田「アップルガール」さん 66歳

昨年の11月中旬から5月上旬までの約半年間、東京にいる息子の世話になっていました。半

年ぶりに帰るわが家は、雪もなく春の陽気さわやかな季節になっていてほっとしました。しかし、半年ぶりの農作業は年寄りにはきつく感じました。

新緑の山々が明日への活力

横手 伊沢久子さん

大好きだった桜の花も散り、青葉若葉の頃。外に出てイスに座って遠くの山を眺めるのもこれまた明日への力が湧いてきます。2年前ぐらい前に雪消しを頑張つて腰を痛め、通院中のため年がいても杖をついての生活に気が滅入る日々でしたが、

春の雪解けと共に解消されました。腰痛は続いておりますが、気分だけでも明るくなりました。

伝えたい 自然の美しさ

増田「いっばい」母さんさん 57歳

いつもの年なら、ゴールデンウィーク前に角館の桜は散っていますが、今年は春が遅いおかげで見物することができました。そこからさらに少し足をのぼして、八津(仙北市)のカタクリの花も見物してきました。どちらも観光地として大変でしょうが、これからもこの自然のすばらしさを伝えていただきたいものです。

横手の魅力再発見!

横手「温泉最高」やっすいさん 42歳

全国各地を巡っていますが、意外と地元を知らない事に気づき、このたび、横手を訪れた人を案内する「ふきのとうの空」に入会しました。そして先日、観光協会の方にも協力していただき、横手地域の「半日観光」に参加しましたが、そこでも多くの発見がありました。40年以上の人生の中で新発見ばかりでした。まさしく「燈台下暗し」です。皆さんもいまだ一度、横手の小旅行をしてみませんか?きつとステキな発見がありますよ。

横手にはこのような課題も

雄物川 「南星」さん 79歳

他地域の方々(ほとんどが高齢者)の観光地めぐりの町ガイドを数回頼まれました。その際に一番困ったことは公共のトイレが少ないことです。木戸五郎兵衛村、酒造会社、その他個人の商店などに頼みましたが、高齢者が多いので苦労しました。駐車場も少なかったです。

市内の温泉制覇を目指して

十文字「O・M」さん 67歳

唯一の私の楽しみは家族と一緒に県内、特に県南の温泉めぐりをする事なのですが、市報5月15日号の中に温泉スタンプラリーの記事を見て、さっそく挑戦してみたいと家族で話しています。このスタンプラリーはとても良い企画だと思います。

記念樹とともに成長

十文字「さくらんぼ」さん 62歳

初孫が誕生したとき、記念樹として八重桜を植えました。あれから9年、孫も小学4年生となり桜は今年も満開に咲き誇っています。この孫の父親が誕生した時、町から記念樹として梅の木をいただき成長と共に梅漬けにしたり、梅酒を作ったりしたものです。今また、二人の孫に恵まれ、記念にライラック(リラの木)と夏椿(沙羅双樹)を植えようかと考えています。

やっと手にしたニューマイカー

増田「M・N」さん 24歳

マイカー2台目についていかに新車をゲット。運転にも前より気をつけ、車をいたわる気持ちは、人をいたわる気持ち。「運転は、うまいカー」って?自分分はウマイっも・り! 今日も安全運転に努めます。我が家には、車が4台。近所の皆さんは、この家は中古車店だなどと申しております。オイオイ、私の車はニューだぞ!

横手駅前の活性化について

横浜市 佐藤敬吉さん

開発となると、どうしても高

も、今年は山に入ったことのない主人が頑張ってくれました。食べ盛りの子どもたちを満足させるためか、乳飲み子から解放されたためか。それでも何より感心するのは、いつも山のゴミを一緒に拾ってくる。山の恵みありがとう。山の神様も喜んでいかな。

いもの「コンニャク頑張り

横手 小原リツ子さん

この間温泉で、市報5月15日号の読者プレゼントのいものコンニャクを食べました。風味が良かったです。友達にも買って差し上げました。販売を始めて間もないと聞きましたが、ピアーブルすれば伸びると思いましたが、いものこと合わせて頑張りてほしいです。

◆環境と景観を守るため、ゴミの不法投棄はなるべくしなければなりません。そのためにはまず、人の心を美しく保たなければなりません。市民一丸となって明るい社会を目指しましょう。

◆私たちが広報担当も試食してみました。くせがなく食べやすいという印象でした。

後悔のない人生に

横手「Y・T」さん 66歳

4、5年程前から、空き缶やタバコの吸殻、ビニール袋にゴミを入れての投げ捨てが目につきます。人は長く生きてゆくものです。いけない事には必ず後

山の恵みを感じながら

大森「聖司の母」さん 39歳

山菜の季節になりました。どの山も「室の山」に見えます。妊娠・出産・育児と、この3年間山に入っています。冬にぜんまい煮を食べたくて、乾燥ぜんまいを買いました。すごく高くてびっくりしました。で

悔がつかまといまいます。「天知る地知る我知る人知る」しっかりと受けとめたいと思います。人間性落第にならないように、明るい社会の建設に向かってまい進しましょう。

からという問題ではないと思います。時間をかけて、ゆっくり支援する対策があればいいと思います。働きたくても、現在のアルバイト・パートは、さまざまな仕事をまかされます。単純な仕事を淡々と行える仕事場も必要ではないでしょうか。

単純作業も仕事のうち

横手「A・T」さん 38歳

横手市の不登校、ひきこもり、ニート支援対策を教えて欲しいです。対象となる人数が少ない

層ビルが思い出されます。できれば、横手らしい開発をお願いします。私は増田町の生まれですが、確かに良くなったと思いますが、自分達が小学生から中学生の頃は、中町・七日町が中心で、春の桜となると真人公園の桜が自慢できたのですが、今は? 上京した者は、自慢出来るものがなくなる? です。

思えば遠く来たもんだ

No.8

雄物川地域

古内 悦子さん(39歳)



長野県諏訪郡下諏訪町出身。祖母・父・母・夫・長男・次男の7人家族。

悦子さんは、長野県諏訪郡下諏訪町の出身。高校卒業後、就職した地元で同社で同期入社だった夫の雅彦さんと知り合い、24歳の時、雅彦さんの両親の住む雄物川町で結婚しました。

「横手はのどかで、自然豊かな土地。四季がはっきりしていて、特に春は桜、秋は黄金色の田んぼと紅葉がとてもきれい。雪の多さには驚きましたが、だからこそ春が待ち遠しいですね。こちらに来て感心したのは、近所付き合いの良さ、みんなが親戚みたいで、とてもあたたかい。戸惑ったのは方言。近所のおばあちゃんたちが話す秋田弁は早口で、まるで英語のように聞こえました。その都度、祖母に通訳してもらいましたが、まだ分からない言葉もあり、難しいですね。私は鍵っ子だったので、子どもたちが帰ってくる家に、家族がいる今の環境と、児童は少なくとも学年全員と関われる学校、あたたかな地域の方々など、子どもの成長にはとてもいいところ」と話してくれた悦子さん。

現在、勤務している三吉山荘について、「長野も秋田も温泉が豊富。この温泉は足腰の痛みに効果と評判です。ぜひ、おいでください」と宣伝してくれました。



読者プレゼントにご協力を

市報よこてでは、市内業者の皆さんへ「読者プレゼント」へのご協賛をお願いしています。横手市内にあるたくさんの特産品や名産品を市報を通して市民の皆さんに知っていただくと共に、市内全世帯に配布される広報紙を活用した商品の宣伝に、ぜひ市報よこてをご活用ください。

■連絡先 秘書広報課：広報広聴担当(☎35-2162)

編集後記

◆高熱と止まらない咳。季節はずれな風邪の症状で、5月末から6月にかけて、約1週間病に伏しました。「健康第一」が資本。聞き慣れた言葉も、体調を崩してから身体管理には遅いですが、体調管理には十分気を付けたいと思います。(卓)

◆消防の密着取材を終え、子どもが消防士に抱く憧れにも似た感情を覚えましたが、幸い、取材中の火災発生はありませんでした。緊迫した雰囲気の中での冷静な判断と機敏な動きには頭が下がる思いです。とても貴重な体験となりました。(孝春)

◆小学校2年生の長男がミニバスに入学してから4か月。初めて練習試合を見に行ったが、試合に出た息子を見てビックリ。以外に動いていると思っただけ、よく見ると攻めと守りを理解していない。しかし、子どもの応援は力が入りますね。(克彦)

◆山菜採りのシーズン到来！と意気込んで、先日山菜採りに出発。自然を満喫する予定が、思いがけない状況や生物に遭遇したりと波乱の一日となつてしまいました。山菜採りにかかる皆さん、しっかりと安全対策をしましょう！(小百合)

巧

TAKUMI
たくみ

【其の八】



上畑温泉さわらび総料理長
山本省三さん(60歳・増田)



郷土料理を創造し続ける「和の巧」

師と共に「名工2代」

職人にとって最高の荣誉である「現代の名工」。平成15年、日本料理の部で現代の名工に選出された巧は、その知らせを誰よりも早く、亡き師匠の元へと届けた…。

県内の日本料理人の中で、名工に選ばれたのは山本氏で2人目。25年前、日本料理人として県内で初めて名工に選ばれたのが師匠である故・田中定雄氏(秋田市)。師と共に「名工2代」を築いた巧は、「おやじ(田中氏)の名を汚したくない」の一心で、料理人としての道を歩んできた。現代の名工に選出され、そして今春、黄綬褒章を授章。料理人としての栄華を極めたかに見えるが、「やっとおやじの背中が見えたくらい」と師匠の偉大さを忘れてはいない。

これまでたくさんの名物料理を生み出してきた巧の創作意欲は今なお衰えを知らず、現在も地元産の食材を使ったたくさんの創作料理を世に送り出している。

「料理は、技術と美術と芸術の結晶。その一つでも欠けたら料理とは言えない」

斬新な発想と確かな技。これからは巧の手から生まれるであろう秀作の数々を期待せずにはられない。



昭和20年、兵庫県生まれ。大阪や東京で修行を積み、26歳のとき、田中氏に弟子入り。以来、県内各地の旅館やホテルで数々の創作料理を発表し、平成12年、上畑温泉さわらび総料理長に就任、現在に至る。平成15年度「現代の名工」に選出。

よこて遺産

THE YOKOTE HERITAGE
No.8

【大森地域】

赤レンガ蔵

国登録有形文化財（建造物）

明治18年、大森町有数の地主だった赤川家が米蔵として建設した赤レンガ蔵。
当初、蔵はレンガ造りではなく、外壁は白い漆喰でしたが、明治39年に町中心部の大火で外壁が焼け落ちてしまったため、明治後期にレンガ積みで改装されました。
蔵は主蔵造り2階建て、建築面積67・2㎡。外壁の最上部には、蛇腹状にレンガの飾りや、2階床の高さにもみじのような45度方向の

ギザギザ飾りなど洋風デザインが取り入れられ、内部は、白漆喰塗りの壁で石敷き。北側には重厚な黒漆喰塗りの戸回があります。
一世紀を超える風雪に耐え、今なお凛とした佇まいを見せる赤レンガ蔵。県内の赤レンガ造りの建築物として有名な旧秋田銀行本店（現在の赤レンガ郷土館）と同時期の建築物として歴史的な価値があり、平成17年に国の有形文化財（建造物）に登録されています。